



Tohoku University Science Café

東北大学 サイエンスカフェ

Tohoku University Liberal Arts Salon

東北大学リベラルアーツサロン

Tohoku University Science Cafe & Liberal Arts Salon
東北大学 サイエンスカフェ & リベラルアーツサロン
会場：せんだいメディアテーク1F／東北大学附属図書館(川内)

誰でも自由に無料でご参加いただけます。中高生、大学生、社会人の皆様のご参加をお待ちしております。

[2012年度後期プログラム]



サイエンスカフェ第85回

10月26日(金)

次世代航空機への挑戦 ～航空機開発の最前線～

岡部 朋永 (東北大学大学院工学研究科 准教授)



サイエンスカフェ第86回

11月30日(金)

震災はココロとカラダをどう変えた? ～回復のためにできること～

富田 博秋 (東北大学災害科学国際研究所 教授)



会場：東北大学附属図書館(川内)
リベラルアーツサロン第19回

12月14日(金)

教育の世紀 ～日英教育の百年～

宮腰 英一 (東北大学大学院教育学研究科・教育学部 教授)



サイエンスカフェ第87回

12月18日(火)

南極で夢見る果ての宇宙

市川 隆 (東北大学大学院理学研究科 教授)



サイエンスカフェ第88回

1月25日(金)

絆を支えるホルモン、オキシトシン

西森 克彦 (東北大学大学院農学研究科 教授)



リベラルアーツサロン第20回

2月1日(金)

解体新書『捕鯨論争』

石井 敦 (東北大学東北アジア研究センター 准教授)



サイエンスカフェ第89回

2月22日(金)

言葉がわかるコンピュータはどこまでできたか ～言葉の不思議と自然言語処理の最前線～

乾 健太郎 (東北大学大学院情報科学研究科 教授)



会場：東北大学附属図書館(川内)
リベラルアーツサロン第21回

3月1日(金)

表現主義とナチズム、芸術と政治

樺島 博志 (東北大学大学院法学研究科・法学部 教授)



サイエンスカフェ第90回

3月29日(金)

深海でさぐる巨大地震のなぞ

日野 亮太

(東北大学大学院理学研究科 准教授)

久利 美和

(東北大学大学院理学研究科 助教)

○ リベラルアーツサロン第19回・21回以外は全て

せんだいメディアテーク1階での実施です。

○ テーマ・講師等については予告なく変更する場合がございます。

知から、力。

楽しい「知」の最先端の話。
コーヒー片手に気軽に誰でも参加できる、

参加費 無料

FREE

事前申込は
不要です

知を愉しむハイクラスのシラ

捕鯨論争のホンネに迫る

「コンピュータは言葉を使っている」

航空機とF1の共通点とは何か

震災はココロとカラダをどう変えたのか

ホルモンが人と人を繋ぐ

■会場：せんだいメディアテーク／東北大学附属図書館(川内) ■時間：18:00～19:45

お問い合わせ：東北大学総務部広報課 TEL. 022-217-4977

○ 開催の様子をカメラ等で撮影し、東北大学において、その写真をホームページ等の広報用に使用する場合があるためご了承ください。

東北大学 サイエンスカフェ



<http://cafe.tohoku.ac.jp/>





Tohoku University

Science Café
東北大学 サイエンスカフェ

会場: せんだいメディアテーク1F 時間: 18:00~19:45

「サイエンスって、むずかしい」、「質問したいことがあるけれども誰に聞いたらよいかわからない」サイエンスカフェとは、そう思っている人たちと科学者が、コーヒーカップを片手にサイエンスについて気軽に話し合い、サイエンスの楽しさを知ってもらう場です。

最初に、取り上げた話題に関する最新の研究成果を講演者が分かりやすく紹介します。次に、ラウンドテーブルごとのトークタイムとして、それぞれのテーブルに東北大学の教員・学生がファシリテーターとして参加し議論します。最後は、全体的な質疑応答の時間とし、ラウンドテーブルでの議論で出た質問に講演者が答えます。

10月26日(金)

第 36 回 サイエンスカフェ

次世代航空機への挑戦 ～航空機開発の最前線～

岡部 朋永

(東北大学大学院工学研究科 准教授)

最新機ボーイング787ドリームライナーが就航し、航空業界は新しい時代を迎えています。その特徴は軽量素材である炭素繊維強化プラスチックを大量に機体に用いる点にあります。F1にも用いられるこの素材を軸にして、航空機開発の最前線を紹介したいと思います。



11月30日(金)

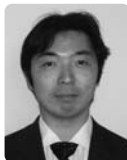
第 37 回 サイエンスカフェ

震災はココロとカラダをどう変えた? ～回復のためにできること～

富田 博秋

(東北大学災害科学国際研究所 教授)

東日本大震災のような出来事は人々の心身に大きな影響を及ぼすことが知られています。実際に健康面でどのような影響が出やすいのか、また、そこからどのように回復していくのかをお伝えし、震災後の健康を考えるヒントとして頂ければと思います。



12月18日(火)

第 38 回 サイエンスカフェ

南極で夢見る果ての宇宙

市川 隆

(東北大学大学院理学研究科 教授)

南極の内陸は宇宙に開かれた最後の窓と言われています。快晴の日が続く、風も穏やかで、大気の透明度も良く、星空が大変きれいな場所です。私たちはそんな場所に望遠鏡を設置して、地球に似た系外惑星の探査や宇宙の果てにある銀河の探査を行うプロジェクトを推進しています。ハワイにあるすばる望遠鏡での成果を踏まえて、極寒の南極にたどり着くまでの道のりを紹介します。



1月25日(金)

第 39 回 サイエンスカフェ

絆を支えるホルモン、 オキシトシン

西森 克彦

(東北大学大学院農学研究科 教授)

脳で作られるオキシトシン (OXT) ホルモンと受容体遺伝子は“絆”を制御し、男女の恋愛行動や母子関係、グループ内の行動(社会行動)に係わります。OXTの無いネズミは他個体識別力が低下し動物レベルでの“自閉症”症状を示します。今回、OXTや受容体を持つヒトや動物間の心を近づける作用について御紹介する予定です。



2月22日(金)

第 40 回 サイエンスカフェ

言葉がわかるコンピュータはどこまでできたか ～言葉の不思議と自然言語処理の最前線～

乾 健太郎

(東北大学大学院情報科学研究所 教授)

私たち人間は言葉を使って意志を伝え、考えをまとめ、知識を記録します。人間と人間以外の動物を分けるのは、この言葉を使う能力です。ロボットの二足歩行を完璧にコントロールし、将棋ではプロ棋士に肩を並べるまでになったコンピュータは、SFの世界のようにいつか言葉を使いこなせるようになるのでしょうか。今回のカフェでは、どうすればコンピュータに言葉を「教える」ことができるか、という問いを通じて、言葉がわかるコンピュータの最前線を紹介し、言葉を使いこなす人の知能の不思議を考えます。



3月29日(金)

第 41 回 サイエンスカフェ

深海でさぐる 巨大地震のぞ

日野 亮太

(東北大学大学院理学研究科 准教授)

久利 美和

(東北大学大学院理学研究科助教)

東北地方太平洋沖地震について、なぜあれほどの巨大地震がおこったのか?への答えを求めて、どのような地震だったのかをさぐるため、震源直上の海底での地震・地殻変動観測、地震断層への深部掘削調査による研究成果と、観測・調査の現場について、紹介します。



Tohoku University

Liberal Arts Salon
Trivium & Quadrivium
東北大学リベラルアーツサロン

会場: せんだいメディアテーク1F
東北大学附属図書館(川内)
時間: 18:00~19:45

ようこそ Liberal Arts Salonへ。

リベラルアーツの語源は古代ギリシア語での「人間を自由にするための学問」にありますが、現代では大学における幅広い分野の教養を身につけるための教育という意味を指すことが一般的です。東北大学リベラルアーツサロンでは幅広い文系研究の中からテーマを選び、中高生、大学生、社会人の皆様に、専門の講師がわかりやすく説明します。

せんだいメディアテークや、講師と直接議論しやすいコンパクトなスペースを会場に、年 6 回のペースで開催します。お話の後では参加者の皆さんと講師が、お茶を飲みながら会話に興じるサロンの雰囲気、質問を交わしていただきます。予約は不要、無料です。誰でもその場で飲み物を片手に気軽に参加できるスタイルです。

12月14日(金)

第 42 回 リベラルアーツサロン

会場: 東北大学附属図書館(川内)

教育の世紀 ～日英教育の百年～

宮腰 英一

(東北大学大学院教育学研究科・教育学部 教授)

20 世紀に日英の初中等義務教育は国民皆学を達成し、高等教育には英国で 9 割以上が、日本でも 8 割近くが在学するようになった。20 世紀はまさに教育の世紀であった。1902 年ロンドン市教員養成所 (のちのロンドン大学教育研究科) の創立や、1907 年創立の東北帝国大学が初代総長に教育者の澤柳政太郎を迎えたことは、その象徴であろう。本講座では日英教育の百年を辿りながら、両国の共通性と相違性を明らかにし、21 世紀の教育を考えたい。



2月1日(金)

第 43 回 リベラルアーツサロン

会場: せんだいメディアテーク1F

解体新書 『捕鯨論争』

石井 敦

(東北大学東北アジア研究センター 准教授)

捕鯨問題に関する情報はほとんどすべてと言っていいほど「捕鯨推進」と「反捕鯨」という対立構図で描かれている。そこで、独立の立場から批判作業をとおして、タテマを崩し、ホンネを探ることで捕鯨論争の真実に迫ってみたい。



3月1日(金)

第 44 回 リベラルアーツサロン

会場: 東北大学附属図書館(川内)

表現主義とナチズム、 芸術と政治

樺島 博志

(東北大学大学院法学研究科・法学部 教授)

ドイツ表現主義の芸術運動が、のちにナチズムへとつながるドイツ民族主義と、いかなる接点を持ち、なぜ抑圧されていたのか、考えてみたいと思います。



詳しい内容は WEB で! <http://cafe.tohoku.ac.jp/>

■せんだいメディアテーク

〒980-0821 仙台市青葉区春日町 2-1 tel: 022-713-3171
<http://www.smt.jp/>

交通のご案内 地下鉄: 仙台駅から泉中央行きで 3 分、勾当台公園駅下車。「公園 2」出口から徒歩 6 分。
バス: JR 仙台駅から「定禅寺通経由交通路大学病院」行きで 10 分。「メディアテーク前」下車。

■東北大学附属図書館(川内)

〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1 tel: 022-795-5943
<http://tul.library.tohoku.ac.jp/>

交通のご案内 バス: JR 仙台駅バスプール 9 番から「青葉台、宮教大、動物公園循環(青葉通経由)」行き。
「東北大川内キャンパス・秋ホール前」バス停下車。徒歩 3 分。

